

令和2年度第2回 北海道立女性プラザ運営協議会 開催結果

1 日 時

令和3年3月27日（土）

2 開催形式

オンライン開催（FBグループルームによるビデオ通話会議）

3 関係者

(1) 委 員

上田委員、大島委員、河野委員、酒元委員、矢野根委員

(2) 事務局

笹谷館長、宮田副館長、大平主事、高橋主事

4 議 題

(1) 令和2年度 北海道立女性プラザ事業実施状況

(2) 令和2年度 図書及びDVDソフト購入状況

(3) 令和3年度北海道立女性プラザ事業計画（概要）

5 主な意見・質問

① コロナ禍ということで、**ZOOM**併設を提案したところ、女性プラザも臨機応変に対応していただき、スムーズに事業を展開できたのはよかった。

ただ、参加申込者の中には「赤ちゃんを連れていきたい」という御希望がありながら、貸室利用の際の制約として、「親子でもソーシャルディスタンスの確保は必須」というものがあり、今後の課題と考えている。

② 男性介護講座も、今年度は初めての試みとして、会場での対面講座と**ZOOM**でのオンライン講座の同時開催となったが、できれば対面交流もしたかったという思いがある。

③ コロナ禍ということもあり、在宅ワークとかが増加し、働き方も大きく変わった1年だった。正規・非正規という区分で言えば、非正規の割合は大きくなっており、そういう意味では兼職も容認されやすい流れが強まってきた。在宅系の副業が、今後大きくクローズアップされてくることになるし、そういった分野での「講演会」や「講座」などが求められるのでは。

④ コロナ禍の中、高校、大学も含め、講座はオンラインとなっていて、**ZOOM**での配信、受信は必須となっているが、年配の男性は苦戦しているのが現状。そういうデジタル・ディバイドをどのように改善していくかが今後、重要な課題でないか。

⑤ 道立女性プラザが北海道の施設として、道民の方々に身近な施設として御利用いただくためには、市町村等連携講座（あなたの街に女性プラザ）のような事業の拡充を図っていくことが、今後、益々重要になってくるのではないか。